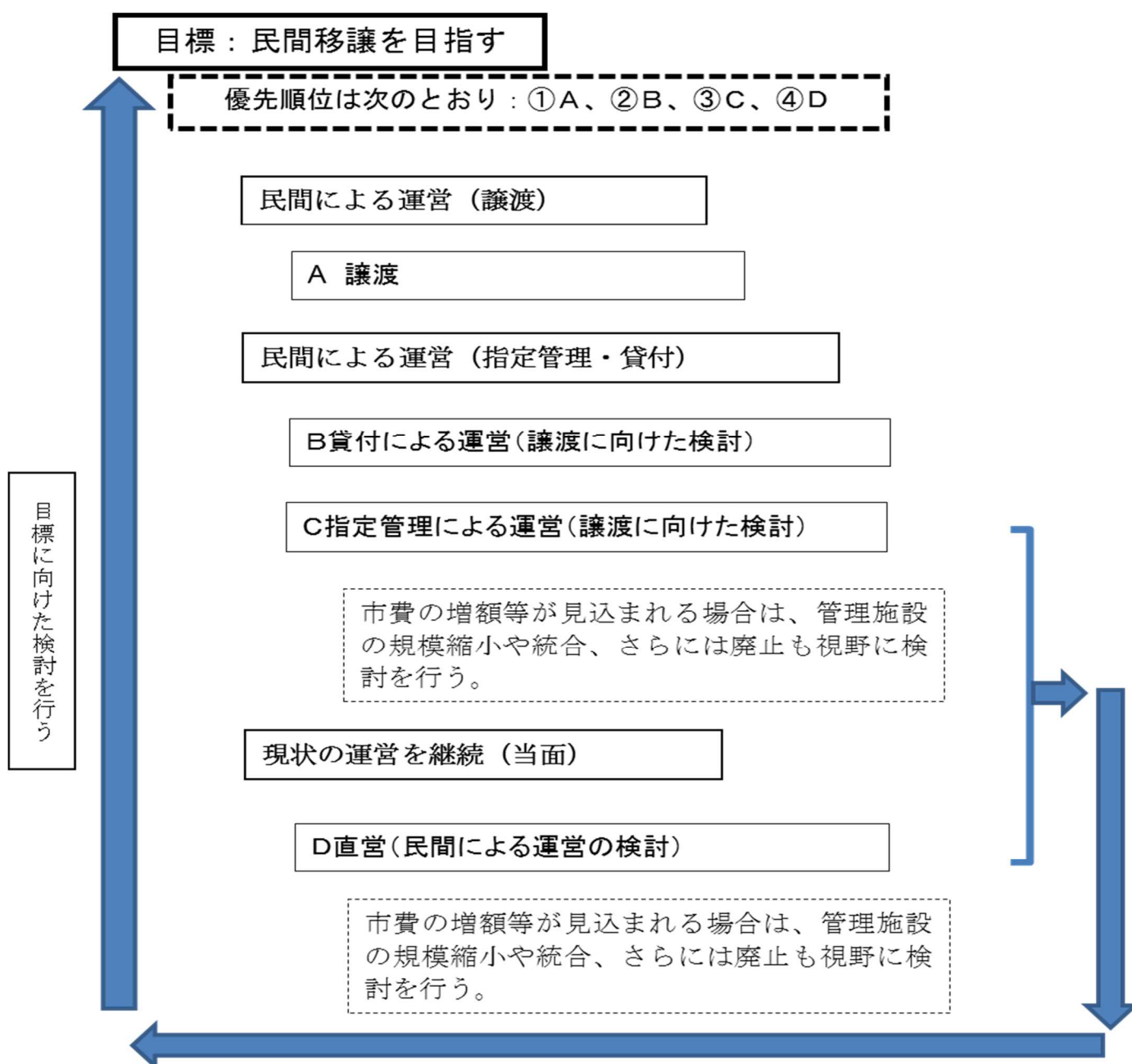


奥州市観光施設等の活用方針について

基本的な市の考え方

活用方針を策定する大前提として、市場調査による提案の有無に関わらず、現在の施設を維持しながらも、より最小の経費で最大の効果が図られる運営を目指すものであり、今後も市の財政状況や社会経済情勢を踏まえつつ、各施設のあり方については、引き続き検討していくものです。

活用方針のイメージ（優先順位の考え方）



活 用 方 針

① 温泉施設

No.	施設名	現在の運営 状況	市場調査の提案内容 (ヒアリング含む)	市の方針
1	舞鶴の湯	直営	指定管理	『指定管理による運営』を目指す。 なお、指定管理は、平成 32 年度から導入することを目指す。 また、民間による運営（譲渡）に向けた検討については、継続する。
2	黒滝温泉	直営	指定管理	
3	国見平温泉	直営	なし	

② スキー場

No.	施設名	現在の運営 状況	市場調査の提案内容 (ヒアリング含む)	市の方針
4	越路スキー場	指定管理	なし	平成 31 年度中に、施設の廃止も視野に入れた『市内 3 スキー場のあり方を検討』する。 方針が決定するまでは、現在の運営状況を継続する。
5	ひめかゆスキー場	直営	3 施設（ひめかゆ、やけいし館、奥州湖交流館）一体での指定管理	
6	国見平スキー場	直営	なし	

③ 宿泊施設

No.	施設名	現在の運営 状況	市場調査の提案内容 (ヒアリング含む)	市の方針
7	衣川荘	直営（公営企業法の一部適用）	【提案 1】 民間運営、将来的譲渡による運営（当初からの譲渡も可）	『民間による運営（譲渡）』を目指す。
			【提案 2】 指定管理。将来的には譲渡も検討	
8	ひめかゆ温泉	指定管理	【提案 1】 指定管理（3 セク方式の継続、リニューアル）	平成 31 年度中に、譲渡等に係る課題及び譲渡条件などを整理し、平成 32 年度から民間による運営を目指す。
			【提案 2】 指定管理。（当初の貸付、将来的には譲渡も可）	